

刑事訴訟法概説(三訂再訂版)



監修	:	裁判所職員総合研修所
定価	:	本体 1,429 円＋税
判型	:	A5 判
ページ数	:	120 ページ(本文 103 ページ)
ISBN	:	978-4-906929-05-4
発行	:	平成 24 年 9 月

内容

本書は、平成 23 年 5 月に刊行した三訂補訂版に、その後の法改正等を踏まえて加筆補正を行ったものです。

目次(抄)

第1章 刑事訴訟法の意義と目的	第2節 公訴提起の方式	第3節 証 明
第2章 裁判所及び当事者等	第3節 訴因と公訴事実	第4節 証拠能力と証明力
第1節 裁判所とその補助機関	第4節 公訴提起の効果	第5節 伝聞証拠
第2節 検察官及び司法警察職員	第5節 訴訟条件	第6節 自 白
第3節 被告人・被疑者及び弁護士	第5章 公判手続	第7節 証拠調手続
第4節 犯罪の被害者	第1節 総 説	第7章 裁 判
第3章 捜 査	第2節 第1回公判期日開廷前の手続	第1節 裁判の意義及び種類
第1節 捜査の意義及び捜査機関	第3節 被告人の出頭確保	第2節 有罪及び無罪の判決
第2節 捜査の端緒	第4節 公判期日における手続	第3節 裁判の成立
第3節 捜査の実行	第5節 公判手続の変形	第4節 裁判の効力
第4節 捜査の終結	第6章 証 拠	第5節 裁判の執行
第4章 公 訴	第1節 総説(証拠裁判主義)	第8章 裁判員制度
第1節 公訴提起の基本原則	第2節 証拠の意義と種類	